

～旧平櫛田中邸アトリエを再び、新たな創作・交流の場に！～
DenchuLab. (デンチュウラボ)
旧平櫛田中邸を活かした、作品制作及び展示・活動企画募集

応募要項

1. 募集内容

旧平櫛田中邸きゅうへいすゑだちゅうていの空間および、周辺の地域環境を活かした作品制作、展示、活動企画、特定のジャンルにとらわれない若手芸術家の意欲的な活動を募集します。

2. 事業期間

下記の期間中に制作・一般公開(発表)をおこなうこと。

[制作期間] 1月8日(月)～2月22日(木)

[一般公開期間] 2月23日(金)～3月4日(日)

3. 採択者数 若干名

4. 対象者

旧平櫛田中邸の空間を活かし、魅力あふれる芸術文化活動を企画・提案する個人及び団体

- ・申請は1組1件までとします。
- ・暴力団もしくは、暴力団の統制下にある個人・団体は対象者となりません。

5. 対象となる作品制作・活動企画の条件(A、Bのいずれか)

A. 作品制作及び展示

旧平櫛田中邸における滞在制作を通じて、建物の新たな魅力を引き出し、空間と呼応した作品の展示・発表をおこなうもの。

B. 活動企画

旧平櫛田中邸を拠点として、制作期間中にワークショップや公開制作の機会を設けるなど、人と人との新たな関係性を予感させる熱意ある活動。一般公開期間中に何らかのかたちで発表をおこなうもの。

[対象とならない制作・活動企画]

- ・営利を主たる目的とするもの。
- ・宗教の布教、政治活動を目的とするもの。

6. 応募条件

- (1) 旧平櫛田中邸で規定の期間に、制作・発表をおこなうこと。
- (2) 制作プロセス、及び発表に関して、随時主催者と情報共有や連携がとれること。
- (3) 旧平櫛田中邸の使用に関する留意事項(後述)を厳守できること。
- (4) 展覧会の開催、作品の搬入・搬出、展示設営から撤去に至るまで責任を持って遂行できること。
- (5) 展示・発表終了後に記録物(写真、映像、その他)を提出すること。

7. 会場

旧平櫛田中邸(東京都台東区上野桜木2-20-3)

8. 審査基準

(1) 実現性

制作体制や実施体制が整っている。活動規模やスケジュールが妥当であること。

(2) 独創性

アーティストが独自の表現を追求することの中に、普遍的な価値が見出せること。
他分野との協働を通じて、芸術の新しい価値創造を目指している。

(3) 将来性

長期的展望があり、今後の活躍や発展が期待されること。

9. 主催者によるサポート

(1) 制作・活動費の支援

選考の結果、総額10万円（上限）の支援。

※複数組選ばれた場合、審査員の審議に基き、金額を分配することがある。

(2) 地域との連携をサポート

(3) 展示・制作会場の提供

(4) 展示・発表の広報協力

10. 作品の著作権・販売について

作品の著作権や販売については、個別相談の上、主催者と参加アーティスト間で覚書を結ぶ。会期中に撮影した制作風景・展示風景や作品などの記録写真・映像の使用権は、主催者と参加アーティストの両者が確保する。作品の販売については、主催者と参加アーティストの協議の上決定する。

11. 応募方法

応募受付期間 2017年12月4日（月） 当日必着

下記必要書類（1）（2）を郵送、またはメールにて受け付けます。

※メールの場合、2日以内に受領のご連絡をいたします。メールが届かない場合は、お問合せください。

(1) エントリー用紙

(2) プロポーザル記入用紙

※提出いただいた書類の返却はいたしません。

◆ 提出先

〈郵送の場合〉

〒110-0002

東京都台東区上野桜木 2-23-8

一般社団法人 谷中のおかって

DenchuLab.募集係

TEL:03-6671-1525 / 080-4342-8215

〈メールの場合〉

dencyu@taireki.com

※件名に〈DenchuLab.企画提出〉と明記の上、お送りください。

1 2. 選考委員

小沢剛（美術家）

熊倉純子（東京藝術大学教授）

椎原晶子（でんちゅうず・NPO たいとう歴史都市研究会）

*選考委員に白石正美（SCAI THE BATHHOUSE 代表）氏を予定しておりましたが、都合により変更となりました。予めご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

1 3. 審査の流れ

提出された必要書類を精査し、一次審査（書類審査）をおこなう。二次審査として、一次審査通過者は選考委員に向けたプレゼンテーションをおこなう。

- ・一次審査（12月上旬） 書類審査
- ・二次審査（12月中旬） プレゼンテーション ※非公開
※日程調整中のため、決定次第Webにて発表
- ・結果発表（12月下旬） メールで通知

二次審査は、本人、もしくはプランの詳細を説明できる代理の方が必ずご出席ください。

1 4. 旧平櫛田中邸での制作に関する留意事項

- ・ 伝統木造家屋と住宅地の環境を守るため、大きな音量の出る利用、建物の構造や材料に負荷のかかる利用、火気の利用は厳禁。
- ・ 建物や庭の利用にあたって、元の状態を復旧できる形で使用すること。
- ・ 伝統的建物は木や土壁、しっくい、紙など、自然素材でできているため、両面テープや釘などの使用にあたっては管理担当者と相談の上おこなうこと。
- ・ 館内外周辺も含めて禁煙。
- ・ 使用時間帯は午前7時より、午後9時まで。宿泊は不可。
- ・ 使用できる範囲は、表庭、母屋、アトリエ棟、台所。手前の付属棟（物置）は老朽化のため、使用不可。
- ・ 制作期間中も一般公開日や見学者の訪問があるため、制作物・道具等の移動をお願いする場合があります。

その他、制作に際して必要な確認事項がございましたら、お問い合わせください。

1 5. 主催・特別協賛・助成・協力

主催：でんちゅうず

助成：アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

協力：井原市、平櫛弘子氏、東桜木町会、東京芸術大学大学院保存修復建造物研究室

1 6. お問い合わせ

一般社団法人 谷中のおかって

住所：〒110-0002 東京都台東区上野桜木 2-23-8

TEL:03-6671-1525 / 080-4342-8215

Email:dencyu@taireki.com

旧平櫛田中邸について

旧平櫛田中邸は、近代日本彫刻を拓いた彫刻家、故平櫛田中氏（1872~1979）が、大正8年から昭和45年まで住み彫刻制作に励んだ建物です。

岡山県井原市出身の田中氏は、明治30年、彫刻家を目指して上京し、岡倉天心の奨励を得て近代木彫の旗手となります。台東区上野桜木のアトリエ（大正8年築）と邸宅（大正11年築）は、大作「転生」の制作にあたり、日本美術院の同人であった横山大観、下村観山らの支援を得て建てられました。当時の最先端の近代的なアトリエと大正時代の伝統的技術による日本家屋がほぼそのままに残る貴重な建物です。

平櫛田中氏は、写実と伝統木彫の技を融合した彩色彫刻に優れ、「鏡獅子」などの代表作をつくられ、昭和36年には台東区名誉区民、同37年に文化勲章を受けられました。また東京美術学校、現東京芸大の教授となり多くの後進を育てました。

平櫛田中氏とご家族は昭和45年までこの家に住み、小平市に転居される折、桜木の家とアトリエを出身の井原市に寄贈されました。その後、お弟子さんが管理のために住まわれた後、無住のあいだ建物の傷みが進んでおりました。

そこで、平成14年から、井原市とご遺族平櫛弘子様のご了解のもと、東京芸大と地域生活文化を生かすNPOたいとう歴史都市研究会が協力して、建物の修繕維持管理と展覧会、見学会等による田中邸の顕彰などの活動を展開してきました。平成23年より文化芸術に関する企画の実施運営を通じて、人々の交流をうみだす一般社団法人 谷中のおかっても協働し、芸術文化の発信活動を行っています。

